

エスエヌ環境テクノロジー(株)

大島町

自然と文化が調和し、人間性豊かな島

千波環境美化センター

1. 大島町について

伊豆大島は東京から 120km の太平洋上に浮かぶ、人口 8,365 人(平成 26 年 9 月末)の伊豆諸島最大の島です。

島の中央に位置する三原山(標高 758m)は、 山頂のカルデラ内に鎮座する中央火口丘で、古来より「御神火様」として島民にあがめられて きました。三原山を取り囲む全島面積 91km²の7割は山林原野となっています。

気候は、海洋の影響を強く受け気温の較差が 小さく、黒潮の流れのため温暖多湿な海洋性気 候となっています。

大島には約8000年前から先住民が住んでいたことが明らかになっています。島の統治は古くは国造が、鎌倉時代・江戸時代は幕府直轄地として、明治維新後は、韮山県、足柄県、静岡県、そして東京府の管轄に移り、昭和18年都政施行に伴い東京都に所属し、現在に至っています。

椿油や高級炭材で知られる椿や、島の情緒を 今に伝えるアンコ姿は、昔から大島のシンボル となっています。

気候温暖で優れた自然景観は、昭和39年に 富士箱根伊豆国立公園に編入されて以来ますま す人気となり、海洋性自然公園の特色を生かし た"憩いの島"として、また首都圏に最も近く てスローライフを体験できるリフレッシュリゾ ートとして多くの観光客が訪れています。

2. 大島町千波環境美化センターの紹介

1) 施設概要

千波環境美化センターは、同一敷地内にごみ 焼却施設と汚泥再生処理施設の二つの施設を一 体的に整備した複合施設として、平成26年3 月に竣工しました。



施設名称:大島町千波環境美化センター (焼却施設) 設計施工:エスエヌ環境テクノロジー・アタカ大機・

山田建設 共同企業体

建設場所:東京都大島町野増字上センバ412

敷地面積:約 16,000m²

処理方式:水噴射式ストーカ炉 **処理能力**:15t/日(7.5t/8h×2炉)

竣 工:平成 26 年 3 月

建設期間中の平成25年には、未曾有の土砂 災害が発生し、工事機材、重機等の損害や宿泊 施設の被災による工事関係者の島からの引き上 げ等により、工事中断を余儀なくされました。 しかし、大島町関係者および工事関係者の多大 な尽力により、工程の遅延もなく予定通り竣工 することができました。

2) 施設の特徴

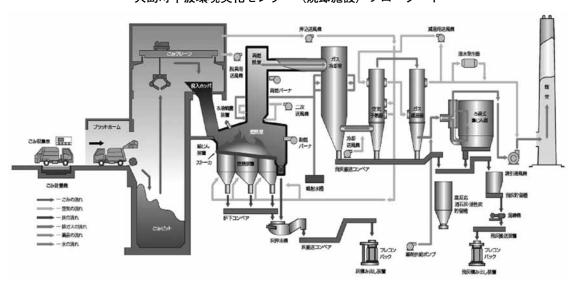
①環境への配慮

- ・国立公園法に基づき、高さ、景観、色彩等の 制約の中、周辺環境に調和した施設としてい ます。
- ・焼却施設排水は、センター内に併設されている汚泥再生処理施設に送り、汚泥やし尿と共に処理されます。
- ・100tの雨水貯蓄槽を設置し、ごみ処理用の 水として雨水を利用しています。
- ②エネルギーの有効利用
- ・併設した汚泥再生処理施設の脱水汚泥を助燃

- 材として利用することにより、重油の使用量 を少なくしています。
- ・太陽光発電パネルを設置し、得られた電力を 電気自動車に充電することにより、自然エネ ルギーの有効利用に努めています。
- ・ごみ焼却時に得られる熱エネルギーは、白煙 の防止や焼却施設内で使用する給湯設備の熱 源等に利用しています。

③町民の方々に開かれた施設

- ・見学者通路から中央制御室、プラットホーム、ごみピット、炉室等施設の内部を見学することができます。
- ・施設の耐震性能分類を「Ⅲ類」から「Ⅱ類」 に引き上げ、充分な耐震性能を確保してお り、災害時の一時避難場所として利用が可能 です。



大島町千波環境美化センター(焼却施設)フローシート

◇三原山

島の中央に位置する三原山(標高 758m)は山頂のカルデラ内に鎮座する中央火口丘です。 1777年に始まった安永噴火で誕生し、頂部に直径 300m、深さ 200m以上の切り立った堅坑状の火口が口を開けています。1986年の噴火以来静けさを保ち、まぢかに火口周辺の絶景を見ることができます。振り向けばカルデラ内外に四季折々のすばらしい景観がひろがり、さらに海原を越えて伊豆の島々から伊豆半島・富士山までグルリと見渡すこともできます。



三原山

◇椿まつり

椿で有名な大島町で毎年1月から3月にかけて開催される大島椿まつりは、今年で60回目を数える大島町最大の観光行事です。大島公園内の椿プラザをメイン会場に、椿の女王コンテスト、伊豆大島カメリアマラソン大会、ジオパーク展など、様々なイベントを島内各地で実施します。

大島の椿

◇地層大切断面

島の南西側、元町港から波浮港に向かう島一周道路沿いにある「地層大切断面」は、伊豆大島の火山噴火史を物語る地層の大切な断面です。外国の火山研究者にも広く知られた自然遺産的断面で、高さ30m・長さ600mにわたって続き、その美しさから地元では「バームクーへン」とも呼ばれています。



地層大切断面